



■ 大学・地域デザイン小委員会・フォーラム 2017(拡大小委員会) ■ 「これからの大学と都市・地域のデザイン」

主 旨 | 大学・地域デザイン小委員会は、キャンパス計画小委員会を前身として、2013年4月に発足しました。大学と地域の連携の重要性を基本としつつ、大学キャンパスと周辺都市双方の持続的発展に寄与できるフィジカルな都市・建築の空間と、エリアマネジメント・ファシリティマネジメントなどを含む、都市のデザイン手法を明らかにすることを目的としています。

小委員会には、都市計画の専門家だけではなく、建築計画、建築デザインの専門家も参加し、多方面からの議論と検討を行っています。中長期的なキャンパスの計画には、周辺の都市・地域との関係をデザインしていくことが不可欠です。また、大学キャンパスは、多様性と複合性を持った都市の縮小モデルであり、都市デザインの理論や方法論を検証していくことができる生きた実験場(Living Lab.)です。

本フォーラムご参加の方々に、4年間の私たちの活動を知っていただき、今後求められる大学と都市・地域双方のサステイナビリティを高めるための新たな視点や目標を、共に議論し明らかにしていければと考えています。

主 催 | 日本建築学会都市計画委員会 大学・地域デザイン小委員会

後 援 | (社)文教施設協会 (予定)

日 時 | 2017年3月25日(土) 14:00~17:30

会 場 | 建築会館3階308会議室

〒108-8414 東京都港区芝5丁目26番20号

プログラム |

14:00~14:05 **主旨説明** 上野 武 (大学・地域デザイン小委員会主査/千葉大学)

14:05~15:00 **セッションⅠ：成果発表**

発表1：「地方都市における大学とキャンパスの新たな役割」

地域再生と大学WG

小松 尚 (名古屋大学)

発表2：「サステイナブルキャンパス評価システムの運用からみえてきたキャンパスのあり方」

サステイナブルキャンパスWG

吉岡聡司 (大阪大学)

発表3：「小さな都市としてのキャンパスのデザイン」

キャンパスデザインWG

安森亮雄 (宇都宮大学)

質疑応答

(休憩)

15:10~16:10 **セッションⅡ：ラウンドテーブルディスカッションⅠ～各大学における展開～**

大学・地域デザイン小委員会・WGで活動、議論してきたコンセプト等は、各大学で実際にどのように昇華され、展開されてきたのか、参加者3分/人ずつご紹介いただきながら、小委員会の議論と現場での実践・実証をディスカッションしていきます。

(休憩)

16:20~17:30 **セッションⅢ：ラウンドテーブルディスカッションⅡ～これからの大学と都市・地域のデザイン～**

コーディネーター+まとめ：小篠隆生 (2017-2018年度 キャンパス・地域再生WG主査/北海道大学)
大学・地域デザイン小委員会・WGの成果を俯瞰し、大学と都市の関係を考えた場合の、社会的な緊急課題や長期的な課題、将来的なニーズに対する社会還元方法等、幅広くディスカッションしていきます。

司会：鶴崎直樹 (九州大学)、斎尾直子 (東京工業大学)

記録：古暮和歌子 (コグレススタジオ)、太幡英亮 (名古屋大学)、

定 員 | 40名

参加費 | 無料

申込み | 2017年3月17日(金) 17:00締切り。定員に達した時点で締め切らせていただきます。

問い合わせ・申込み先 | 斎尾直子 (東京工業大学) E-mail : nao-s@arch.titech.ac.jp

氏名・所属・連絡先を明記の上、メールでお申し込み下さい。